

柔道整復科

画像観察

対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2	
担当教員	星野虎之助			実務 経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)					

授業概要

安全に柔道整復術を提供するために様々な医療用画像について学びます。

到達目標

各種撮影法の基本原理と画像診断の理論を理解し、柔道整復師で扱う代表的疾患の画像を供覧する。画像に関する知識は、柔道整復師として患者の病態を把握し、施術・後療・全体のプログラムを作成していく上で重要な基礎となる。その為、日常の臨床で多用する画像を用いて人体がどのように観察されるのかを解説し、臨床画像を通じた基本的画像解剖を理解する事を到達目標とする。

授業方法

画像診断には、主に柔道整復師に代表される病態について、単純X線写真、CT、MRI等の読影法と鑑別診断を学ぶ。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

画像評価による見落としのミスの恐れがあるため、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。

教科書教材

資料（こちらで用意する）

回数	授業計画
第1回	放射線について（放射線の定義、単位、性質、作用）
第2回	放射線について（放射線の様々な影響）
第3回	頸椎の撮影（頸椎の方向撮影法）

柔道整復科

画像観察

第4回	胸椎・腰椎の撮影（胸椎、腰椎の方向撮影法）
第5回	骨盤～膝関節の撮影（骨盤から股関節周囲の方向撮影法）
第6回	膝関節の撮影（膝関節の方向撮影法）
第7回	足関節の撮影（足関節の方向撮影法）
第8回	足部の撮影（実際の撮影における足部の方向撮影法）
第9回	1回から8回の振り返り
第10回	肩関節の撮影（肩関節周囲の方向撮影法）
第11回	肘関節の撮影（肘関節周囲の方向撮影法）
第12回	手関節の撮影（手関節の方向撮影法）
第13回	手～指の撮影（手から指の部分の方向撮影法）
第14回	レントゲンとMRI、CTの比較（MRI、CTの性質・特徴とレントゲン撮像との違い）
第15回	半期の総括